

## 「転移性去勢抵抗性前立腺癌におけるがんゲノム検査による個別化医療の有用性の検討」

### 1. 研究の対象

2019年4月から2027年12月までに当該研究機関を受診し癌パネル検査を受けた去勢抵抗性前立腺癌の患者さん

- ・「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究（申請番号13397）」の研究同意および附随する包括同意を得ている患者さん
- ・年齢が20歳以上である患者さん

### 2. 研究目的・方法

2019年よりがんゲノム検査が導入されました。転移性去勢抵抗性前立腺に対する治療法としては、従来の新規ホルモン療法やタキサン系化学療法に加え、がんゲノム検査結果に基づいてPARP阻害剤や免疫療法が使用できるようになっており、治療の選択肢は広がっています。当院では去勢抵抗性前立腺癌に対しては網羅的に遺伝子変異が解析可能な癌パネル検査が行われています。しかしがんゲノム検査は限られた施設でしか行われておらず、さらに前立腺癌における実臨床データは限られています。本研究では、がんゲノム拠点病院と連携病院である、大阪国際がんセンターと大阪府立急性期総合医療センターの症例を加えることで、転移性去勢抵抗性前立腺癌における遺伝子変異プロファイルや遺伝子変異に基づく治療成績を明らかにします。

この研究は2027年12月末まで行われます。

利用又は提供を開始する予定日:2024年12月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、遺伝子変異 等

本研究のために新たに血液や組織の採取を行うことはありません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各機関にて保管・管理します。

### 5. 研究組織（利用する者の範囲）

研究代表者（代表機関）

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 講師 波多野浩士

研究実施担当者

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 金城友紘

個人情報管理者

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 講師 波多野浩士

既存試料・情報の提供のみを行う機関

大阪急性期・総合医療センター 泌尿器科 中野剛佑 高尾徹也

大阪国際がんセンター 泌尿器科 川村憲彦 中山雅志

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座（泌尿器科学）・講師・波多野 浩士

住所：大阪府吹田市山田丘2-2

連絡先：06-6879-3531